

からこんにちは！

小学校

島前陸上（小3～小6）

9月19日（土）に海士中学校のグラウンドで島前陸上大会が開催され、本校の小学3年生から6年生の児童が参加しました。

本番まで一人ひとりが自分の体力を向上させ、記録を伸ばすことができるように、声を掛け合い応援し合いながら一生懸命練習に励んできました。また、西ノ島小の代表として、あいさつやマナーな

ど普段の学校生活から良くしているとうと意識する姿も見られました。当日は、自分が出場する競技に全力で取り組み、子どもたち一人ひとりが日頃の練習の成果を発揮し、力を出し切ることができた大会となりました。

温かいご声援を送ってください

ました保護者の皆様、地域の皆様、本当にありがとうございました。



児童の感想

6年 丸井 結花

私たちは「応援しあえるチーム」を目指して、仲間と声をかけ合って練習に取り組んできました。練習では、つらいことや苦しいこともあったけど、応援し合うことで乗りこえてきました。

当日は、仲間や学校にいる1、2年生の応援を感じながら全力を出し切ることができました。結果はいろいろありましたが、悔いなくやることができました。応援ありがとうございました。

結果

■100m

3年生男子 1位 白野 龍磨 2位 松尾 歩季 3位 桶谷 海斗
3年生女子 3位 島津 咲春
4年生男子 1位 平木 恭介 2位 上原 璃久
5年生男子 3位 鎌田 咲久 5年生女子 3位 近藤 海美
6年生男子 3位 木下 桃李 6年生女子 1位 松浦 恵菜 3位 丸井 結花

■長距離

3年生男子 1位 松尾 歩季 2位 白野 龍磨 3位 新 由人
6位 桶谷 海斗
3年生女子 2位 島津 咲春
4年生男子 1位 上原 璃久 4位 萬田 将伍 5位 松尾 帆高
4年生女子 6位 島本 彩葉
5年生男子 2位 鎌田 咲久 4位 岩佐 拓海 5位 上田 柊馬
5年生女子 3位 増田 華 5位 杉山 和瑚
6年生男子 2位 木下 桃李 5位 平木 敢士 6位 新 真人
6年生女子 1位 丸井 結花 3位 要 優 4位 松尾 栞奈
5位 島津 心歌

■走り幅跳び

男子 3位 平木 敢士
女子 2位 田中 心葉 3位 松尾 栞奈

■走り高跳び

男子 1位 木下 桃李 3位 新 真人
女子 1位 松浦 恵菜

■ジャベリックボール投げ

男子 2位 山根 一星 3位 木村 圭佑
女子 2位 島津 心歌 3位 杉山 和瑚

■4×100mリレー

中学年男子 1位 西ノ島A 3位 西ノ島B
高学年男子 2位 西ノ島A
高学年女子 1位 西ノ島A 3位 西ノ島B

※4年生男子800m1位の上原璃久さんの記録(2分46秒6)は、76回行われてきた島前陸上大会の大会新記録となります。

中学校

隠岐中学校弁論大会

9月3日（木）、隠岐島文化会館において、隠岐中学校弁論大会が行われ、3年生の新遙花さんと2年生の小新智嗣さんが学校代表として出場しました。日頃考えていることを言葉に託し、聴衆に伝えるためにはどのように伝えるとよいかを考え、夏休みから練習を重ねてきました。本番では、たくさんの聴衆の前で、自分が伝えたいことをしっかりと伝えることができました。代表としてふさわし



▲最後の島前陸上大会、がんばりました



西ノ島小中学校

い立派な弁論でした。大会への参加を通して、考えていることを言葉で表現することの大切さ、また、相手に伝わる表現の仕方について学ぶことができました。



▲ 堂々と発表しました！

生徒の感想

2年 小新 智嗣

僕は初めて隠岐弁論大会の舞台に立って発表をして、もちろん緊張もありましたが、体の向きを変えて話すことや、声のトーン、大きさ、時間なども意識して今までで一番いい発表ができてよかったです。そして、優秀賞という結果が残せてよかったです。もし来年も代表に選ばれたら、弁論の発表だけでなく、他の学校の人もたくさん話せるようにしたいと思いました。【優秀賞】

3年 新 遥花
私は弁論大会を通して自分の考

えを誰かに伝えるって大切なことだなと改めて感じました。初めての隠岐弁論大会で本当に緊張しましたが、本当に自分の考えを発表して大丈夫かなと不安になりました。ですが、話し始めると色んな人が聞いてくれて心が軽くなりました。優秀賞には選ばれなかったけれど、それ以上に大切なことがわかった一日だったなと思います。自分の考えを誰かに話すって、とても怖いし勇気のいることだけど、恐れずに話すことが大切だと思いました。

ふるさと演劇

今年度のふるさと演劇では、平成24年以来14年ぶりに復活した演目と新作の2本を上演しました。

復活作は、終戦後の困難を乗り越え、故郷・西ノ島を目指す人々を描き、新作は島前病院を舞台に地域の医療と介護を取り上げました。生徒たちは仲間と協力して作品を創る達成感を味わうとともに、ふるさと西ノ島を考える良い機会となりました。当日は多くの皆様にご来場いただき、アンケートでは、温かいお言葉を頂戴しました。心より感謝申し上げます。

各班リーダーの感想

3年 中澤 竜颯 (A班)

私は今回のふるさと演劇を通して、西ノ島の魅力や自分たちが多くの人の支えの中で生活していることを知ることができました。2週間という短い練習期間でしたが、島前病院の白石先生の実話をもとにした新作の演劇をみんなの協力のもと、創り上げることができました。演劇を行う時には、島前病院の皆さんにたくさんご協力いただき、心から感謝しています。この演劇を通して、西ノ島の素晴らしさが、皆さんに伝わっていれば嬉しいです。来年のふるさと演劇もぜひ、観に来てください。



▲ A班 現代の島前病院を舞台にした劇

3年 山崎 健成 (B班)

初めは、他の人の演技をくすくす笑っていたり、台本ばかりを読むような練習だったと思いますが、皆がセリフを覚えはじめるとうるさくが一変しました。恥じらいが消えて自信と熱のこもった演技になり、大きな達成感を得られました。私も演劇リーダーとして不安もありましたが、班の仲間が最後までついてきてくれたおかげで、完成度の高い演劇を創り上げることができました。B班の仲間には、感謝でいっぱいです。演劇を見てくれた地域や保護者の皆様、本当にありがとうございました。



▲ B班 戦後の三度地区を舞台にした劇